

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 未来創造部

所属名 定住促進課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
県外学生等との多様な「関わりしろ」拡大事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和9年度	15,695		3,270		12,425	継続
地域おこし協力隊定着支援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	平成30年度	令和9年度	20,000				20,000	継続
㊦地域おこし協力隊パワーアップ事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和3年度	令和8年度	25,763				25,763	拡充
ふるさと貢献促進事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	平成20年度	令和9年度	109,486			109,486		継続
ふるさと納税を活用した交流人口拡大プロジェクト	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和元年度	令和8年度	21,419			42,861	△ 21,442	継続
ふるさと納税による新事業創出支援事業	17 「チームふくい」の行政運営	政策的経費	平成30年度	令和8年度	30,163			30,000	163	継続
ふるさと納税を活用した楽器寄付受入事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和5年度	令和8年度	726				726	継続
企業版ふるさと納税推進事業	17 「チームふくい」の行政運営	政策的経費	令和8年度	令和8年度	9,323			1,623	7,700	継続
ふるさと福井移住定住促進機構運営事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	平成27年度	令和9年度	54,230		27,115		27,115	継続
Uターン移住就職等支援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和元年度	令和9年度	99,085		32,000		67,085	継続
移住サポート推進事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和3年度	令和9年度	11,208		1,738		9,470	継続
京都人材開拓事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和10年度	3,000		300		2,700	継続
ふくい移住ブーム創出事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和5年度	令和8年度	11,304		5,185		6,119	継続
㊦地域の仕事・暮らしインターン推進事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和5年度	令和10年度	10,505		2,502		8,003	拡充
都市部子育て家族の県内長期滞在モデル構築事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和5年度	令和7年度						廃止
移住相談集中強化事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和6年度	令和9年度	16,742		8,371		8,371	継続
福井県Uターン奨学金返還支援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和10年度	143,483			64,200	79,283	継続
㊦学生インターンシップ推進事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和元年度	令和10年度	16,062		8,031		8,031	拡充
学生Uターン就職推進事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和10年度	20,044		10,022		10,022	継続
県内学生・女性定着支援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和10年度	6,838		3,419		3,419	継続
Uターン学生就活交通費応援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和元年度	令和10年度	22,090		615		21,475	継続

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度

部局名 未来創造部

所属名 定住促進課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦ 専門人材就活支援事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和6年度	令和10年度	7,098		3,549		3,549	拡充
㊦ 学生県内就職支援情報発信強化事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和7年度	令和9年度	20,268		10,134		10,134	拡充
キャリアナビセンター運営事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和2年度	令和10年度	24,383		12,191		12,191	継続
ふくアプリを活用した学生コミュニケーション創出事業	11 ふくい型移住・定住の促進	政策的経費	令和7年度	令和9年度	19,930		6,465		13,465	継続
					718,845		134,907	248,170	335,767	

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	令和2年度	
	県外学生等との多様な「関わりしろ」拡大事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	県外学生等と地域との多様な「関わりしろ」を拡大することにより、関係人口の拡大を図る。				
事業内容	(1) 県内2地区（河和田、竹田）で開催される県外学生によるキャンプの側面支援 (2) キャンプ参加学生と“福井”の新たな「関わりしろ」創出 (3) 地域おこし協力隊による学生キャンプの拡充活動				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	15,695		3,270		12,425
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	関係人口（参加学生人数）	120	131	見込み
	活動指標	学生キャンプ実施数（地区）	2	2	令和7年度
事業評価	コロナ以前のキャンプ活動を体験している学生が卒業し、同じ参加者の目線で先輩から後輩へ現場で伝える環境が失われるとともに勧誘活動を行う学生数が減となったものの、参加学生の県内企業や高校生との交流など、新たな活動を取り入れ、関わりりの質をさらに深めた。 <事業実績> 令和7年度夏キャンプ参加学生数：76名 令和7年度春キャンプ参加学生数：3月末確定予定				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	平成30年度
地域おこし協力隊定着支援事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県内で活動する地域おこし協力隊が、3年間の任期終了後においても地域に定着し地域活動を実施することを支援することで、活動地域の活性化の継続を図るとともに、協力隊の定住を促進する。				
事業内容	(1) 任期満了後の隊員への定着支援 (2) 起業・事業承継の要する経費の支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,000				20,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	定住率（全国平均との比較）	68.9%	68.7%	
	活動指標	定着支援制度を活用した隊員の人数	10	11	見込み
事業評価	<p>定着支援事業の着実な実施により、地域おこし協力隊卒業者の定着に貢献した。本事業の継続的な実施や、各種研修会・交流会等の実施により、定住率は向上してきている。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着支援制度を活用した隊員：11名（令和8年2月現在。潜在対象者14名） ・起業支援補助を活用した隊員：4名 ・協力隊の定着に向けた研修会、交流会等の実施回数：15回（令和8年2月現在） 				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和3年度
⑧ 地域おこし協力隊パワーアップ事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県内で活動する地域おこし協力隊の受入れ・定住を支援し、地域活動の活発化と若者の定住促進を目指すとともに、地域おこしマネージャーを配置し、県内で活動する隊員への助言やフォローなど、県全域の地域おこし協力隊に対するサポートを行う。				
事業内容	(1) 地域おこし協力隊の募集事業 (2) 地域おこしマネージャー任用 (3) 地域おこし協力隊ネットワーク強化事業（拡充）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	25,763				25,763
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内地域おこし協力隊隊員数	80	79	
	活動指標	定着に向けた研修会、交流会等	6	15	見込み
事業評価	<p>地域おこし協力隊員からの相談対応や研修会等の実施により、地域おこし協力隊員の活動の円滑化および活性化、また、地域おこし協力隊員数の増加を図った。</p> <p>成果指標（地域おこし協力隊隊員数 R11年度：100人）の目標達成に向けて、引き続き事業の着実な実施とさらなる充実を図っていく。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内地域おこし協力隊新規着任者数：29人（令和8年2月現在） ・地域おこし協力隊員等の支援を行うマネージャーの任用：3人 ・都市圏等での地域おこし協力隊募集セミナー等の実施 				
区分	拡充				

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	平成20年度	
	ふるさと貢献促進事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	ふるさと納税の寄付者の新規開拓を行うとともに、寄付者とのつながりを深めることにより、継続的な寄付者の確保を図る。				
事業内容	(1) ふるさと納税制度の運用 (2) ふるさと納税による福井の魅力発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	109,486			109,486	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	寄付金額（千円）	80,000	79,428	令和8.1時点
	活動指標	寄付対象とするプロジェクト数（件）	14	22	令和7年度
事業評価	<p>「ふくい桜マラソンを応援」や「FUKUI RAYSを応援」などを中心に22件のプロジェクトを実施した。</p> <p>本県出身者や赴任経験者などの本県ゆかりの方や、これまでふるさと納税の寄付をしていただいた方を中心に、ふるさと福井の活性化につながる多様な用途を示し、継続的な寄付を呼びかけた結果、目標達成見込みである。</p> <p><事業実績> 寄付金額：79,428千円（令和8年1月末時点）</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
11 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和元年度
ふるさと納税を活用した交流人口拡大プロジェクト				事業終了年度	令和8年度
事業目的	ふるさと納税をきっかけとした来県を促進するため、着地型ツアーや体験プログラム等の「ふるさと納税ツーリズム」を提供することにより、交流人口を拡大を図る。				
事業内容	(1) 旅行事業者による体験プログラムの提供 (2) 県内観光に係る旅行ポイント等の提供				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	21,419			42,861	△ 21,442
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	寄付受入額（千円）	33,500	25,877	令和8.2時点
	活動指標	寄付件数	200	228	令和8.2時点
事業評価	<p>「ふるなびトラベルポイント」を中心に、来県を促進する返礼品を提供することで、ふるさと納税を呼び込むとともに交流人口拡大につなげることができた。</p> <p>北陸新幹線開業2年目を迎え、寄付金額は減少しているものの、寄付件数は維持しており、引き続き事業の周知に努めていく。</p> <p><事業実績> 寄付受入額：25,877千円（令和8年2月現在） 認定プログラム：1件（お幸ざい提供施設宿泊補助券） 寄付件数 R7年度：228件（令和8年2月現在） R6年度：211件</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
5 ともに進める（総合力）				経費区分	政策的経費
17 「チームふくい」の行政運営				事業開始年度	平成30年度
ふるさと納税による新事業創出支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	地元金融機関および地元メディアと連携し、クラウドファンディング方式で全国からふるさと納税を集め、県内事業者の創業、新商品開発、販路開拓などの新たな事業プロジェクトを支援することにより、地域産業の活性化を図る。				
事業内容	(1) 奨励金の交付 (2) クラウドファンディング実行予定者向けセミナーの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	30,163			30,000	163
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	寄付金額（千円）	30,000	13,010	令和7年度
	活動指標	支援対象件数（件）	15	9	令和7年度
事業評価	ふるさと納税の仕組みを活用することで、県民が主体となり地域を盛り上げる活動を支援することができた。さらなる支援件数拡大に向け、支援制度の周知を図っていく。 <事業実績> 支援対象件数：11件 達成件数：8件（1件目標未達、2件辞退） 新事業創出事業案内セミナー：1回				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和5年度
ふるさと納税を活用した楽器寄付受入事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	全国から楽器の寄付を募り、必要とする学校に配付することにより、教育現場における楽器の充実を図る。また、寄付された楽器を査定して、ふるさと納税とすることにより、税の軽減効果による寄付促進を図るとともに、寄付者と本県との関係づくりのきっかけとする。				
事業内容	○楽器寄付を受け入れ、希望する学校に引き渡し				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	726				726
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	楽器寄付によるふるさと納税額（千円）	552	630	
	活動指標	楽器受入れ個数（個）	24	8	
事業評価	<p>ふるさと納税の仕組みを楽器寄付に活用したことで、寄付者の負担を減らし、楽器が不足している学校を支援することができた。</p> <p>引き続き、楽器愛好家等に対し、制度を周知し、受け入れ数増加に努めていく。</p> <p><事業実績> 楽器寄附による寄付金額：630千円（令和8年3月16日現在）</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
5 ともに進める（総合力）				経費区分	政策的経費
17 「チームふくい」の行政運営				事業開始年度	令和8年度
企業版ふるさと納税推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	企業版ふるさと納税を活用し、資金やノウハウなどの民間活力を取り込み、本県の地方創生を推進する。				
事業内容	(1) マッチング会社の活用 (2) 地域おこし協力隊の活用 (3) 福井県まち・ひと・しごと創生基金の設置・運用				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,323			1,623	7,700
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	寄付金額（千円）	100,000	90,456	
	活動指標	企業訪問件数	60	61	
事業評価	<p>県外事務所とも連携し、企業訪問を行っているほか、マッチング会社の活用に加えて、地域おこし協力隊による寄附候補先企業の開拓等を進めており、目標達成見込みである。</p> <p><事業実績> 寄付金額：90,456千円（令和8年1月末時点） 企業訪問件数：61件（令和8年1月末時点）</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	平成27年度
ふるさと福井移住定住促進機構運営事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県外学生・社会人のU Iターンを促進するため、県および全市町が参画する総合拠点「ふるさと福井移住定住促進機構」を設置。福井・東京・名古屋・京都・大阪に相談窓口「福井暮らしはたらくサポートセンター（福井Uターンセンター）」を設け、移住・就職相談、県内企業とのマッチング（職業紹介）、情報発信等の施策を展開する。				
事業内容	(1) 福井暮らしはたらくサポートセンター（福井Uターンセンター）の運営 (2) 移住促進情報発信関連事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	54,230		27,115		27,115
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新ふくい人	1,400	-	令和8年5月公表
	活動指標	相談件数（県・市町合計）	13,400	-	令和8年11月公表
事業評価	<p>「福井暮らしはたらくサポートセンター」では、移住希望者に対し福井での仕事や移住相談・情報提供を実施し、手厚い伴走支援を行うことで、新ふくい人の創出につなげている。</p> <p><成果指標実績> 新ふくい人 R6年度：1,367人 相談件数（県・市町合計） R6年度：11,844件</p>				
区分	継続				

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	令和元年度	
	U I ターン移住就職等支援事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	移住に係る初期費用の支援を行い経済的負担を軽減するため、移住支援金を支給し、福井への移住を促進する。				
事業内容	○東京圏型、全国型移住支援金の支給				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	99,085		32,000		67,085
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	新ふくい人	1,400	-	令和8年5月公表
	活動指標	支給実績（件）	298	240	見込
事業評価	<p>人口減少および東京圏の転入超過という全国的な傾向のなか、移住支援金の支給実績の落ち込みは小さい。各移住施策制度の訴求力強化やマッチング精度向上に努め、移住者の増加を図っていく。</p> <p><事業実績> 移住支援金（東京圏型）：22件（令和8年1月末時点） 移住支援金（全国型）：218件（令和8年1月末時点） 新ふくい人 R6年度：1,367人</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和3年度
移住サポート推進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	移住者等が展開するU I ターン・関係人口拡大に資する活動を支援し、先輩移住者等による「人が人を呼ぶ」活動を促進する。あわせて、移住の現地下見等に伴う移動費を助成し、人材招致を強化する。				
事業内容	(1) 「移住サポーター」による移住定住促進 (2) 移動費・滞在費支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,208		1,738		9,470
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	移住サポーターによる移住者招致数	5	13	
	活動指標	移住サポーター数	47	57	
事業評価	移住サポーター数は、年々増加傾向にある。令和7年度より県外にサポーターを委嘱するなどして、首都圏での交流会を開催し、移住者の掘り起こしを図った。 <事業実績> 移住サポーター数：50名（個人）・7団体（団体） 移住サポート報酬制度：13名の移住者へ「はぴコイン」を付与				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和2年度
京都人材開拓事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	都市圏の高スキル人材や県内に I ターンした若者、京都に関わりのある県内在住者による「移住促進チーム」を設置し、福井からの進学者が多い京都からの学生の U I ターンや新ふくい人の増加を促進する。				
事業内容	(1) 「移住促進チーム」の設置 (2) 人材開拓および関係人口創出事業の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,000		300		2,700
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	新ふくい人	1,400	-	令和8年5月公表
	活動指標	イベントの開催回数	10	11	
事業評価	<p>若者チャレンジ応援ディレクターなどとも連携し、大阪において福井ゆかりの若者を集めたイベントの初開催や、PR動画を制作し「ふくい移住ナビ」等で情報発信するなどの活動を実施し、福井県への移住や関係人口の増加を推進させた。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西圏でのイベント参加者数 47人 ・移住促進チーム員が誘致したモニター来県者数：25人 ・制作したPR動画の再生回数：1.3万回以上 ・イベント等の実施による関係人口（累計）：96人 <p>(参考) 新ふくい人のうち、関西圏からの移住者数 R6年度:435人、R5年度:400人、R4年度：370人</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和5年度
ふくい移住ブーム創出事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	都市部の若者・子育て世代を主なターゲットとして、ナッジを活用したインターネット広告の配信や県民等を巻き込んだSNSキャンペーン等を展開することにより、福井への移住ブームを創出し、移住者の増加を図る。				
事業内容	(1) ナッジを活用したインターネット広告の配信 (2) 移住PR短編動画の配信 (3) SNSキャンペーンの実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,304		5,185		6,119
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ふくい移住ナビPV数	460,000	378,908	見込
	活動指標	ナッジバナー広告配信回数	3	3	
事業評価	<p>大手検索サイトなどでのインターネット広告や移住PR縦型ショート動画の配信、SNSキャンペーンを実施することで、ふくい移住ナビへの流入を促すとともに、インスタグラムのフォロワーが増加した。</p> <p>インターネット広告からふくい移住ナビへのクリック性向を高めるため、引き続き手法を検討していく。</p> <p><事業実績></p> <p>WEB広告 (表示回数) : Googleディスプレイ256万回、Yahoo!ディスプレイ広告1,517万回、Meta広告1,025万回、LINE広告785万回</p> <p>移住PR縦型ショート動画 (再生回数) : ふくい移住ナビ3,178回、Youtube6,914回</p> <p>インスタグラムフォロワー数 : 約5,000人 (年度当初2,636人)</p>				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和5年度
㊦ 地域の仕事・暮らしインターン推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	ものづくりを支える仕事やイベント等の企画・運営に携わりたい若者とのマッチングを促進するため、地域において通年で仕事・暮らし体験が可能な受入プログラムを作成し、地場企業での仕事や地域の産業に根差した暮らしの体験を通じて、移住定住につなげる。				
事業内容	(1) インターンの募集・広報・実施 (2) インターン企画の造成に関する専門人員の任用 (新規)				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,505		2,502		8,003
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	インターン参加者数	20	25	
	活動指標	インターン開催回数	2	2	
事業評価	ものづくりに関心のある県外の若者を主なターゲットとして、福井県での暮らしやものづくり産地の仕事を体験するインターン受入れ事業を実施した。 定員を上回る参加希望者を集められており、今後は受入れ回数を増やすなど、さらなる取組みの拡充を図っていく。 <事業実績> ・長期滞在型の仕事・暮らしインターン 2/9 (月) ~2/27 (金) 7名参加 ・短期集中型の仕事・暮らしインターン 3/8 (日) ~3/11 (水) 18名参加 ・参加者募集に関するWEB広告配信、説明会等を実施				
区分	拡充				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
11 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和6年度
移住相談集中強化事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	都市部の若者・子育て世代を主なターゲットとして、ショッピングモールでの出張移住相談の実施や各種移住イベントへの出展、移住セミナーを断続的に実施することにより、本県移住相談者のすそ野の拡大を図り、移住定住を促進する。				
事業内容	(1) 県内外での移住相談会、セミナー等の開催および関連イベントへの出展 (2) 移住相談集中強化推進補助金による市町の相談体制の拡大				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	16,742		8,371		8,371
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新ふくい人	1,400	-	令和8年5月公表
	活動指標	移住相談イベント等実施数	52	55	
事業評価	北陸3県連携の移住フェアやプロモーションイベントの開催や、子育てイベントや商業施設、大阪・関西万博でのプロモーション活動、東京での出張相談の回数増により、参加者は前年度比170%となり、より多くの方へ福井県への移住情報の発信を行った。				
区分	継続	<事業実績> R6年度イベント実施数：39回、来場者数：4,375名 R7年度イベント実施数：55回、来場者数：7,472名			

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和2年度
福井県U I ターン奨学金返還支援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	奨学金を借りている県外大学等の卒業者や県外出身学生が県内に就職した場合、その返還を支援することにより県内就職・定着の促進を図る。				
事業内容	○U I ターン者の奨学金返還支援 対 象 者 県外大学等の卒業者や県外出身学生（募集人数 100人） 認定要件 県内企業に理系職種、専門職等で就業する者（学部を問わない） 補助上限 大学等100万円 大学院、医・薬学部（6年制）150万円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	143,483			64,200	79,283
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	学生Uターン者数（理工系）	180	110	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	補助金利用者数	100	130	令和7年度
事業評価	学生Uターン者数（理工系）について、本事業の周知不足や、売り手市場の傾向が強くと都市圏大企業の採用拡大が続き目標未達も、活動指標を達成。さらなる理工系のUターン増加にむけ、本事業の周知を図っていく。 <事業実績> ・補助金利用者数のうち、低学年の申請者数：16名 ・補助金支給者数：130名				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和元年度
㊦ 学生インターンシップ推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	就職活動が開始される前に企業と学生が出会う場であるインターンシップがより一層重要となっている。学生が、インターンシップを通じて就業意識を醸成するとともに、魅力的な県内企業を知る機会を提供する。				
事業内容	(1) 福井県インターンシップ事業 (2) インターンシップ参加学生交流会の開催（新規）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	16,062		8,031		8,031
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	学生Uターン率	30.0	28.4	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	インターンシップ参加者数	570	349	令和7年度
事業評価	<p>売り手市場による都市圏企業のインターン強化や、民間事業者による就活支援サービスが充実するなか、県内企業や大学と連携し、多くの学生が参加した。さらなる参加者数の増加にむけて、内容の充実を図っていく。</p> <p><事業実績> 令和6年度参加者数：403名（県外：254名／県内：149名） 令和7年度参加者数：349名（県外：220名／県内：129名）</p>				
区分	拡充				

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	令和2年度	
	学生U I ターン就職推進事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	経団連の「採用選考に関する指針」が廃止され、採用活動が早期化している中、県外への進学者が県内企業の魅力に触れる機会を全学年トータルに提供し、U I ターン就職を促進する。				
事業内容	(1) 合同企業説明会等の開催 (2) 学内交流会等の開催 (3) 学生・企業相互のアプローチ支援 (4) 県外就職者のUターン調査 (5) 福井県出身学生を集めた交流会の開催 (6) 就活情報サイト291JOBS新卒の運用・保守				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,044		10,022		10,022
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	学生Uターン率	30.0	28.4	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	交流会等参加人数	100	717	令和8.2時点
事業評価	成果指標であるUターン率は、売り手市場の傾向が強く、都市圏大企業の採用拡大が続いていることにより目標未達も、県外における合同企業説明会や交流会を開催し、717名の学生が参加した。引き続き、県外学生へのアプローチを強化する。 <事業実績> ・県外合同企業説明会等の参加人数：209名 ・県外交流会等の参加人数：717名（令和8年2月現在）				
区分	継続				

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	令和2年度	
	県内学生・女性定着支援事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	県内学生および女子学生等の県内定着を推進するため、県内企業の魅力に触れる機会を全学年トータルに提供する。				
事業内容	(1) 学生と先輩社会人による交流会の開催 (2) 合同企業説明会の開催 (3) サマー求人企業説明会の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,838		3,419		3,419
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内大学等卒業者の県内就職者数	1,350	1,298	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	各種説明会の参加者数	2,080	2,141	令和8.2時点
事業評価	<p>成果指標である県内就職者数は、売り手市場の傾向が強く、都市圏大企業の採用拡大が続いていることにより目標未達も、活動指標は達成。県内企業や大学と連携し各種イベントに多くの学生が参加した。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生と先輩社会人による交流会の開催（12月・2月）：96名 ・合同企業説明会の開催（3月）：739名 				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
11 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和元年度
UIターン学生就活交通費応援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	UIターン就職を希望する県外学生の就職活動に係る交通費、宿泊費、就職にかかる移転費を支援し、県内での就職活動を応援する。				
事業内容	(1) 東京圏型移転費等の補助 (2) 全国型交通費、宿泊費の補助				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	22,090		615		21,475
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	学生Uターン率	30.0	28.4	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	支援事業利用者数	1,000	1,227	令和8.2時点
事業評価	<p>成果指標である学生Uターン率は、売り手市場の傾向が強く、都市圏大企業の採用拡大が続いていることにより目標未達も、活動指標は達成。引き続き、県外学生へのアプローチを強化しUターンの増加を図っていく。</p> <p><事業実績> 令和6年度支援事業利用者数：932名 令和7年度支援事業利用者数：1,227名（令和8年2月末時点）</p>				
区分	継続				

	未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
11	ふくい型移住・定住の促進		事業開始年度	令和6年度	
	㊦ 専門人材就活支援事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	理系分野やその他専門的な分野で就職を希望する学生を対象に、県内企業の魅力に触れる機会を提供し、県内定着やU I ターン就職を促進する。				
事業内容	(1) 学生ピッチ・面談会の開催 (2) 県内大学の理系学部で県内企業を紹介する「連携授業」の開催 (3) 県外大学の授業で県内企業を紹介する「連携授業」の開催（新規） (4) 理系学生向け業界研究会の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,098		3,549		3,549
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内大学等卒業者の県内就職者数	1,350	1,298	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	各種面談会等参加者数	180	222	
事業評価	成果指標である県内就職者数は、売り手市場の傾向が強く、都市圏大企業の採用拡大が続いていることにより目標未達も、活動指標は達成。引き続き、理系学生へのアプローチを強化し県内就職の増加を図っていく。 <事業実績> ・学生ピッチ・面談会：19名 ・県内大学での「連携授業」：157名 ・理系学生向け業界研究会：46名				
区分	拡充				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和7年度
⑧ 学生県内就職支援情報発信強化事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県内外の学生に対し、福井で「働く、暮らす」イメージを醸成するとともに、本県の各種就活支援情報を学生の目にとまりやすい場所に特化して発信することにより認知度の向上を図り、県内就職を促進する。				
事業内容	(1) 県内外の大学構内や周辺などでの就職支援情報の発信 (2) 福井で働く女性社員など多様なロールモデルの発信（新規）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,268		10,134		10,134
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県事業の学生認知	20%増	20%～50%	令和7年3月（令和6年度）実績
	活動指標	情報発信実施キャンパス数	25	25	令和7年度
事業評価	<p>県事業を「知らなかった」と答えた者の割合が20%以上改善。引き続き、学生への情報発信を強化し県内就職の増加を図っていく。</p> <p><事業実績> R5.3卒 → R7.3卒 県事業を「知らなかった」と答えた者の割合 交通費支援 77.0% → 28.1% ▲約50% 奨学金 37.1% → 19.4% ▲約20% 291JOBS 75.5% → 57.5% ▲約20% 相談窓口 70.0% → 48.2% ▲約20%</p>				
区分	拡充				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
11 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和2年度
キャリアナビセンター運営事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	H29年4月にジョブカフェの一部機能をFスクエアに移転し開設したキャリアナビセンターを大学生等の総合就職総合窓口として引き続き運営することにより、新規学卒者の就職支援および学生への就職の早期意識付けを行い、大学生等の県内企業就職促進の拠点とする。				
事業内容	(1) 新規学卒者の就職支援講座、相談対応、 (2) 企業と学生の交流会開催、業界研究会や合同企業説明会等の開催 (3) 広報事業、オンライン対応事業、学生むけ広報物改善事業 (4) 北陸エリア・大学4年生重点対応事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	24,383		12,191		12,191
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	利用者数	1,500	1,898	
	活動指標	交流会開催回数	25	49	
事業評価	キャリアナビセンターの利用者数、交流会開催回数ともに達成。引き続き、本事業を通じて県内就職の増加を図っていく。 <事業実績> ・しごとカフェ（6回）参加学生数：52名 ※うち2回2月・3月開催 ・企業×学生交流会（3回）参加学生数：56名 ・2026年卒向け合同企業説明会（9月）参加者数：49名				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 1 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和7年度
ふくアプリを活用した学生コミュニケーション創出事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	高校在学中から大学、就職、子育て期まで、学生本人と福井県がつながり続ける仕組みを構築することにより、「福井で働く、暮らす」イメージを醸成し、UIターンや県内定着を促進する。				
事業内容	(1) 若者むけコンテンツサイト「ハピBASE」の運営、会員登録キャンペーンの実施 (2) 居住エリアや年齢などに応じた県内就職関連情報等をプッシュ通知				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	19,930		6,465		13,465
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ふくアプリ登録学生数	2,000	1,227	令和8.2時点
	活動指標	登録促進キャンペーン実施回数	5	7	
事業評価	登録学生数について、本事業の周知不足や、対象となる高校生自身の大学受験期への重なりにより、令和8年2月末時点では目標未達成 <事業実績> ふくアプリ登録者数【高校生】492名、【大学生】411名、【その他】324名 高校生新規登録キャンペーン（11月～1月）、高校生卒業祝キャンペーン（3月） 大学生向けふるさと応援便の実施（3月）、就活イベント参加特典2回（12月・3月）				
区分	継続				

		未来創造部	定住促進課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
11 ふくい型移住・定住の促進				事業開始年度	令和5年度
都市部子育て家族の県内長期滞在モデル構築事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	市町と連携し、未就学児を保育園で一時預かりして、親が安心してテレワークやワーケーションなどを行いながら、都会ではできない福井ならではの自然体験や生活体験を長期間、家族で県内に滞在できるモデル事業を開発、実施する。				
事業内容	○制度の構築支援とモデル事業の自走に向けた支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,000		2,500		2,500
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	参加親子数	25	0	
	活動指標	実施市町数	5	0	
事業評価	市町と連携して長期滞在モデルを構築することを目的に事業を実施していたが、福井市・坂井市・越前町など市町独自で実施することができるようになり、当初の目的を果たしたことから廃止とした。				
区分	廃止				